

いいかも

可茂県事務所 振興防災課
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL：0574-25-3111 内線 208
FAX：0574-25-3934

「ドキュメンテーション」で保護者と保育士が交流！！

わが子の成長を確認し、家庭教育の充実を目指すたちばな保育園

たちばな保育園では、コロナの影響により、保育体験や誕生会などの園の行事が普段のように実施できない状況が続いていた中、昨年8月から保育園での子どもたちの様子を動画配信されています。

また、“ドキュメンテーション”という取組で、子どもたちの様子がわかる掲示物を作成して、保育室の入り口に掲示してあります。幼児のお迎えの際に見ていかれる保護者の方も多く、写真とコメントを通して、子どもたちの成長の様子が紹介されています。そんな交流により、家庭での子どもたちの成長ぶりが保育士にも伝えられ、園と保護者の双方向のやりとりによって、充実した家庭教育のきっかけにつながっています。

この取組の根底には、園の参観日の代替えとして、子どもの写真を撮ってコメントを付け、かわいい成長の様子を見てもらいたいという願いがあります。「ここまで育ってきた。」という子ども理解を深め、広い視野から、子どもの成長を共有し、共に喜び合えることを大切にしたいものです。そして、保護者からは次のような感想が生まれています。



- ・動画配信を見て、かわいい姿が見れてうれしかった。祖父母にも動画をみせて、家庭内での会話に広がりがみられました。
- ・子どもを媒体とした一枚の写真がきっかけで、うちの子が大事にしていることがわかりました。保育士との交流により、意思疎通もより一層深まりました。



子どもの成長の様子が、園内の保育士間だけでなく、保護者との双方向のやりとり、祖父母などとの家庭内、さらには保護者同士、地域でも共有されています。子どもが多方面から褒め言葉のシャワーを浴びることは、子ども自身の自己肯定感の醸成につながっていきます。

- ・育児に関して、不安感を持ってみえる保護者も、子どもの育ちと育て方に安心感が深まっています。

【参考】ドキュメンテーションとはどういう取組？⇒イタリアのレッジョ・エミリアが発祥とされています。保育士が保育園での子どもの生活の様子から、成長が実感される場面を取り出し、分析し、まとめたものを保護者などと共有するための資料です。保護者に提示して、家庭の様子と類推、分析、統合して、保護者と共に子ども理解を深めることがねらいです。

大優警備保障にて企業内研修

(株)大優警備保障の34名の方を対象に企業内家庭教育研修を実施しました。受講者は20代から80代まで家族構成も様々でした。

前半のリトミックの活動では、音楽を聴いて、自然に声が出たり、歌ったりすることができました。後半の「家庭教育を实践する日」の話では、家族で防災会議・親子クッキング・ノーメディアの日など家庭教育に関わる実践例の紹介をしました。



＜研修テーマ＞

- リトミックを使って、家族のふれ合い・コミュニケーションのアップを！！
- 「家庭教育を实践する日」の啓発



＜日時＞令和3年12月19日（日）9：30～10：30

＜場所＞可児市川合地区センター ホール

＜受講者＞（株）大優警備保障 34名

＜研修内容＞

- ・ピアノや音楽に合わせて、体を動かしたり、相手と心を開放して、互いのコミュニケーションを図ったりしましょう。そして、このことを日頃の人間関係や家族のふれ合いに生かしましょう。（大山美保子リトミック講師）
- ・「家庭教育を实践する日」について知り、実践に向けて、具体的なイメージを持ちましょう。（家庭教育推進専門職）



そして、受講者のアンケートからは、次のような感想をいただきました。

＜受講者の感想＞

- ・体を使って大変楽しかったです。この研修を生かして職場でも互いに会話することが増え、コミュニケーションも深まると思います。
- ・孫が8人のジージです。孫が集まると大人数になりますが、今日の家庭教育の話がいつも気にかかることになると思います。
- ・「家庭教育を实践する日」の話で、家族で防災会議の实践を聞いたので、親子のコミュニケーションや防災について親子で考えてみたい。

